

大地震の時には

火災・事故等緊急事態が発生した場合は、下記に準じて行動してください。
落雷や竜巻などの発生時には、安全な建物内に移動してください。

Manuals describing procedures in case a major earthquake should occur during the Minato Citizens' Festival have been distributed to the information booths in each area. Please see the October 1 issue of Minato Monthly for information on the Minato Citizens' Festival.

芝公園一帯は港区の広域避難場所です。
大地震の際は、危険物から離れ、会場内の安全な場所で待機をお願いします。

大きな揺れを感じたら

危険物から離れる

窓や棚、ガラスなど割れたり中身が飛び出しそうなものから離れる。
また、瓦屋根や大型看板等、落下、転倒の恐れのあるものから離れる。

落下物から頭と手足を守る

バッグ等の手荷物で頭を覆うなどして、頭と手足を守る。
落下物の恐れのない場所にいる場合は、その場に座り込む。

出口を確保する

屋内展示場等にいる場合、余裕があればドアを開け出口を確保する。

揺れがおさまるのを待つ

安全を確保して、揺れがおさまるのを待つ。

身を守る

揺れがおさまったら

冷静に落ち着き周囲を確認

余震の可能性もあるので、あわてずにしばらく様子を見る。
周囲のものが倒れたり、落下してくる恐れがない場合は、その場で待つ。
危険と判断した場合は、安全なところへ移動する。

初期消火

火災が発生している場合は、自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら初期消火。消火が困難と判断した場合は、すみやかに火から離れる。

負傷者の救護

負傷者がいる場合は、自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら応急手当をする。
※エリアごとに本部や連絡所があるので連絡する。 ※救護所を活用する。

周囲を確認！

避難するときの注意点

「おかしも」を守る

「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」を守り、場内放送等の指示に従って落ち着いて避難。身の回りのものは身につけるが、避難に支障が出る大きな荷物は置いていく。

火災が発生している

煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。



安全確認ができるまでは待機

二次災害の回避

周辺の安全確認ができるまでは、むやみな移動はしない。

家族との連絡

各種伝言サービスを活用して家族との連絡をとる。

安全確認ができて、歩いて帰る場合

可能な限り、2人以上で同じ方向へ帰宅する。夜間の行動は避ける。



救急車の要請



- ① 局番無しの**119番**に電話する。
- ② 「**救急です**」とはっきり言う。
- ③ 状況・状態を伝える。
- ④ 現在地の住所と会場目印を伝える。
みなと区民まつり〇〇会場
- ⑤ 傷病者の氏名、年齢、性別を伝える。
※応急手当の指導があったら指示に従う。
本部やエリアごとの連絡所の職員にもお伝えください。

家族への連絡方法

災害用伝言ダイヤル(171)

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービスです。
■蓄積伝言数/1電話番号あたり1~20伝言
■録音時間/1伝言 30秒以内

伝言の録音

伝言の再生

- ① ☎**171**へ電話をかけます。ガイダンスが流れます。
- ② **1**
- ③ 市外局番+自宅電話番号

市外局番+相手の電話番号

※毎月1日、15日に体験版が利用できます。
※災害時に本サービスが開始されます。

携帯各社の災害用伝言板

大規模災害時に携帯電話から安否確認(安否情報の登録)ができる災害用伝言サービス。
災害伝言板に登録された情報は、パソコンやタブレットなどインターネットから確認することもできます。

各社の二次元コードはこちら



NTT ドコモ
<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>



au
<https://dengon.ezweb.ne.jp/>



ソフトバンク/ワイモバイル
<http://dengon.softbank.ne.jp/>



楽天モバイル
<https://public-safety.mobile.rakuten.co.jp/>

※毎月1日、15日に体験版が利用できます。
※災害時に本サービスが開始されます。